

**警告****安全のために**

ご使用前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

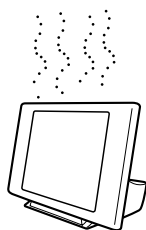
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター(巻末)に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜く。
- ② モニターの電源を切り、バッテリーを取りはずす。
モニターやクレードルにACパワーアダプターが差し込まれているときは、ACパワーアダプターも抜く。
- ③ お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンター(巻末)に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この機器は2.4GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線機器間との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、エアボード カスタマーサポートセンター(巻末)までお問い合わせください。



この無線機器の使用周波数は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20mです。

この機器には、(財)テレコムエンジニアリングセンターの技術的条件適合認定を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されています。

無線チャンネルの変更について詳しくは、「ワイヤレスチャンネルを変更する」(取扱説明書177ページ)をご覧ください。

リチウムイオン電池についてのお願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会 TEL：03-3434-0261

ホームページ：<http://www.baj.or.jp>

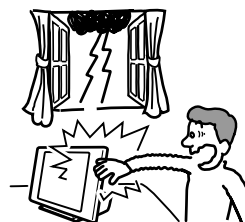


Li-ion



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない
感電の原因となります。



接触禁止

本機は国内専用です

海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。また、取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにベースステーションやクレードルの電源プラグをコンセントから抜き、モニターの電源を切って、エアボードカスタマーサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。



禁止

内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。

また、本機は、(財)テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵され、かつ(財)電気通信端末機器審査協会の技術基準適合認定を受けた製品であり、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。

内部の点検や修理は、エアボード カスタマーサポートセンターにご依頼ください。



分解禁止

テレホンコードやイーサネットケーブル、電源プラグ
のコードの配置に注意する

本機に取り付けるテレホンコードやイーサネットケーブル、電源プラグのコードが、人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどして、けがの原因になったり、本機の損傷の原因になったりします。



指示



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源プラグやACパワーアダプターのコードを振り回さない

人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。



禁止

お子さまの手の届かない場所に設置する

タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。



注意

安定した場所に設置する

モニターやベースステーション、クレードルは、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



指示

本機を病院内に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

ペースメーカーなどの近くで使用しない

ペースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、エアボードを間近まで近づけないでください。医療電気機器が誤動作する可能性があります。



禁止

モニターのスタンド部分を持って運ばない

スタンドがモニターからはずれて、けがの原因となることがあります。



注意

タッチペンで目などを突かない

けがの原因となります。取り扱いに注意してください。



注意

バッテリーの交換は安定した場所で行う

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



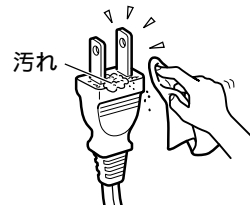
注意



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源プラグや充電端子は定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間や、充電端子に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



自動車の中では使わない

本機は車載仕様ではありません。



禁止

お手入れの際、電源プラグを抜き、バッテリーを取りはずす

電源プラグを差し込んだままお手入れをしたり、バッテリーをモニターに取り付けたままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

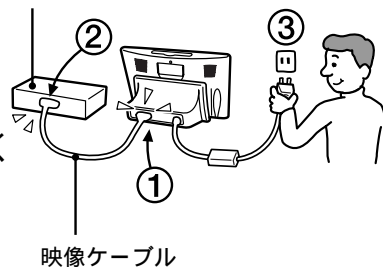
電源プラグは、他機器との接続が終わってからつなく

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。

また、他機器との接続が終わったあとで、電源プラグの電源コードを壁のコンセントに差ししてください。(右図の順参照)

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く
壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは右図の③②①の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

他機器



モニターをベースステーションに無理に設置しない

コネクターが壊れる原因となることがあります。



注意

指定のACパワーアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



禁止

ベースステーションを移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。



プラグをコンセントから抜く



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。



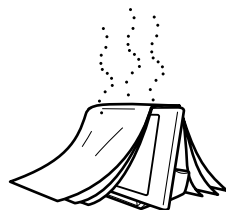
アース線を
接続せよ

旅行などで長期間使用しないときは、電源プラグを抜く安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコン
セントから抜く

本体やACパワーアダプター、クレドールを布や布団などでおおった状態で使用しない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



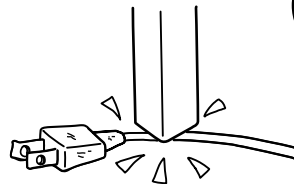
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはエアボードカスタマーサポートセンターに交換をご依頼ください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



注意

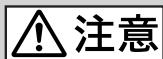
長時間使いすぎない

モニターを手に持ったまま長時間使用すると、モニターの重みで腕や手首が痛くなったりすることがあります。

使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



注意



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品に損害**を与えたりすることがあります。

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



注意

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



注意

ぬれた手で電源プラグ、ACパワーアダプター、バッテリーおよび本体にさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

タッチペンで液晶画面を強く押しすぎない

液晶画面が壊れる原因となることがあります。



注意

モニターやベースステーション背面の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。ベースステーションを壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。



禁止

モニターやベースステーションに長時間触れない

長時間モニターをひざの上に乗せたり、ベースステーションに手などを触れたままにしないでください。温度が相当上がり、低温やけどの原因となることがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品に損害**を与えたりすることがあります。

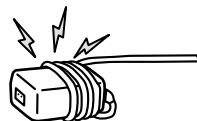
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



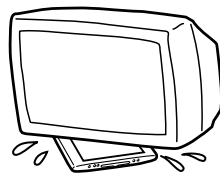
ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面(表示部)はガラスでできています。モニターをひねったり、落としたり、モニターに肘をついたり、重いものを載せたりなどすると、タッチパネルや液晶画面が割れて、けがの原因となることがあります。



硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない
液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。



本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。



ベースステーションやクレードルのモニター接続端子
に金属物や金属片などが触れないようにする
ショートによる火災や故障の原因となることがあります。



クレードルを本機のモニター以外に使わない
火災やけがの原因になることがあります。



バッテリーについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解したりしない。電子レンジやオープンで加熱しない。
- コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯や保管しない。ショートすることがあります。
- 本体に付属のバッテリー以外は使用しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談する。

警告

バッテリーを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
 - 一般ゴミに混ぜて捨てない。
- または、ソニーサービスステーションにお持ちください。



リモコンの電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

- ボタン型リチウム電池は幼児の手の届かないところに置く。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

-  と  の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の裏面やACパワーアダプターが熱くなることがあります

- 本機の動作時や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。
 - 本機は使用状況により熱くなることがあります。モニターは、長時間ひざの上などにおいてご使用にならないでください。
-

本体やACパワーアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACパワーアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、エアボード カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

使用上のご注意

落とさないでください

本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。また、液晶パネルのガラスが割れることがあります。

取り扱いについて

- 本機を雨または湿気にさらさないでください。モニターやベースステーションの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因となります。
- 必ず、付属のACパワーアダプターを使用して電源（AC100V）につないでください。
- 本機を開けたり分解しないでください。
- (財)テレコムエンジニアリングセンターより電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。
- (財)電気通信端末機器審査協会より技術基準適合認定を受けており、分解および改造を行うと、法律で罰せられることがあります。

通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。
通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。

置き場所について

- 次のような場所に置かないでください。
 - 異常に高温になる場所：炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
 - 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所：変形したり、故障したりすることがあります。またバッテリーの寿命が短くなります。
 - 濡れた場所
 - 振動の多い場所
 - 強力な磁気のある場所
 - 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所：海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
 - ぐらついた台の上や傾いた場所
 - 高い場所：落下してけがの原因になります。
 - 風呂場など、湿気の多い場所
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- できるだけ床から離し、モニターとベースステーションの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないように場所に設置してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使用しないでください。本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。タッチペンやはずれた部品を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使用しないでください。医療機器の誤動作の原因となることがあります。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。
- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所でご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

動画表示について

テレビやビデオを見ているとき、表示の一部がブロック状に見えることがありますが、画像処理によるもので、故障ではありません。

テレビの画質について

お住まいの地域によっては、テレビ受信チャンネルと本機のワイヤレスチャンネルの組み合わせにより、本機のテレビまたはご家庭のテレビ画面に、雪が降ったようなちらつき(画ノイズ)が出る場合があります。

対処のしかた

- 雪が降ったような画ノイズが本機のテレビ画像に出る場合
本機のワイヤレスチャンネルの調整で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
(☞取扱説明書177ページ)

使用上のご注意(つづき)

- 本機を使用すると、雪が降ったような画ノイズがご家庭のテレビ画面に出る場合
本機のワイヤレスチャンネルの調整で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
(☞取扱説明書177ページ)
それでも直らないときは、本機のモニターとベースステーションをご家庭のテレビおよびアンテナ接続ケーブルから離してご使用ください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りをするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

データのバックアップについて

修理時に本機のメモリーが壊れて、保存されていたメールのデータ、画像データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。

修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した画像データやメールなどは“メモリースティック”に控えとしてコピーしてください。

弊社の修理によりデータが万一消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を傷つけないようにしてください。
液晶画面に触れるときは、付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めます。窓際や室外などに置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、液晶画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に液晶画面やモニター、ベースステーションのキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

“メモリースティック”についてのご注意

“メモリースティック”の挿入口に金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用していますが、この蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

冷却ファンの音について

本機のモニターには、内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露(水滴)がつき、正しく動作しないことがあります。バッテリーを取りはずしてから電源プラグを電源コンセントから抜いて、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

- お手入れをする前に、必ずモニターとベースステーションの電源を切り、電源プラグをすべてコンセントから抜いてください。クレードルは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾いた柔らかい布、または水をかたくしぼった布で軽く拭いてください。
- 液晶画面の汚れをふきとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、色落ちや変色する場合がありますので、ご注意ください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使用しないでください。本機の内部に入って、故障の原因となることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。
落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、ベースステーションとモニターは別々に運んでください。それぞれ図のように左右側面の下を持ち支えるようにしてください。



モニターを運ぶとき



ベースステーションを運ぶとき

廃棄するときは


- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはエアボード カスタマーサポートセンターへ

ナビダイヤル： 0570-05-0005(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

携帯電話・PHSでのご利用は：0191-32-2951

受付時間：月～金 午前9時～午後6時(ただし、年末、年始、祝日を除く)

エアボードに関するさまざまな情報：<http://www.sony.co.jp/airboard>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan